

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年11月11日
【四半期会計期間】	第41期第2四半期（自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日）
【会社名】	株式会社 アイビー化粧品
【英訳名】	IVY COSMETICS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 白銀 浩二
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂六丁目18番3号
【電話番号】	03（3568）5151（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理部長 兼 経理部長 中山 聖仁
【最寄りの連絡場所】	東京都港区赤坂六丁目18番3号
【電話番号】	03（3568）5151（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理部長 兼 経理部長 中山 聖仁
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第40期 第2四半期連結 累計期間	第41期 第2四半期連結 累計期間	第40期
会計期間	自平成26年 4月1日 至平成26年 9月30日	自平成27年 4月1日 至平成27年 9月30日	自平成26年 4月1日 至平成27年 3月31日
売上高 (千円)	2,326,612	2,943,174	4,488,867
経常利益 (千円)	366,580	661,403	375,709
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	230,802	392,879	235,988
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	232,553	391,889	238,841
純資産額 (千円)	3,173,440	2,942,691	2,749,375
総資産額 (千円)	5,901,578	5,896,274	5,526,134
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	10.67	19.81	11.05
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	53.8	49.9	49.8
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	123,019	129,657	448,925
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	2,949	65,207	7,078
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	150,643	285,084	661,181
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,261,709	833,691	1,314,425

回次	第40期 第2四半期連結 会計期間	第41期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成26年 7月1日 至平成26年 9月30日	自平成27年 7月1日 至平成27年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	21.17	25.19

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を用い、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

#### (1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れ影響を受ける懸念はあるものの、各種成長戦略の推進を背景に雇用環境が改善していく兆しのなかで、緩やかな景気回復傾向が続いております。

このような状況のもとで、当社グループは企業理念「愛と美と豊かさの実践と追求」に基づき、コア事業である訪問販売領域の販売組織満足を獲得するとともに、全てのステークホルダーの満足度向上を目指し、「驚きと楽しさと感動に溢れる美しい生き方」とともに創造し、幸せと豊かさを提供する「ワンダ・フル・カンパニー」として成長すべく、企業活動に邁進してまいりました。

平成27年は企業テーマに「Beauty」を掲げ、「なりたい自分になれる」当社独自の世界を再構築し、美しく生きる人を育む活動を通して、多くの女性の美しさ実現を支援しております。具体的には、多様化する販社固有の問題解決と美容液商戦に向けた地域ユニット別、売上カテゴリー別戦略を推進し販売稼働者の拡大に注力したことにより、前年同四半期比で営業所増設は15.4%増、ビューティマネージャー増員は3.5%増、アイビーメイツ増客は28.5%増となりました。

そのような動きを背景に売上面におきましては、平成27年6月に発売し好評を博したスキンケアシリーズ「ラベシック」を7月も販売強化を継続することで24,000セット超の追加受注を、また例年販売強化を行っている「リンクル ローション」の発売30周年を記念した全社キャンペーンの効果も相まって、「アクシール エッセンス」も含めた美容液合計で78,000セット超の受注となり、前年同四半期比で増収となりました。

台湾事業におきましては市場拡大を継続展開することで、新規顧客、リピート客の拡大に努めてまいりました。利益面におきましては、売上総利益が増加したこと、販売費及び一般管理費の継続低減努力により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも前年同四半期比で増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,943,174千円（前年同四半期比26.5%増）、営業利益660,158千円（同91.0%増）、経常利益661,403千円（同80.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益392,879千円（同70.2%増）となりました。

なお、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益を計上するものの、売上債権の増加、短期借入金の純減、配当金の支払があったことにより、当連結会計年度期首残高に比べ480,733千円減少し、当第2四半期連結会計期間末には833,691千円となりました。

また当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は129,657千円（前年同四半期比6,638千円増）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益661,403千円、減価償却費50,740千円等があるものの、売上債権の増加額758,375千円、たな卸資産の増加額91,951千円、仕入債務の減少額125,498千円等があったことによるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は65,207千円（前年同四半期は2,949千円の獲得）となりました。

これは主に貸付金の回収による収入9,681千円、差入保証金の回収による収入50,732千円があるものの、有形固定資産の取得による支出58,424千円、定期預金の預入による支出45,000千円等があったことによるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は285,084千円（前年同四半期比134,440千円増）となりました。

これは主に社債の発行による収入195,882千円があるものの、短期借入金の純減額240,000千円、社債の償還による支出42,000千円、配当金の支払額197,762千円等があったことによるものであります。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、113,446千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成27年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成27年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	25,520,000	25,520,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	25,520,000	25,520,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成27年7月1日～ 平成27年9月30日	-	25,520,000	-	804,200	-	343,800

( 6 ) 【大株主の状況】

平成27年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社白銀社	東京都港区南青山7-7-16	3,900	15.28
株式会社ブリーズ	東京都武蔵野市桜堤2-13-1-633	2,900	11.36
安藤 英基	東京都品川区	1,036	4.05
アイビー化粧品取引先持株会	東京都港区赤坂6-18-3	865	3.38
白銀 浩二	東京都港区	680	2.66
白銀 恵美子	東京都港区	650	2.54
白銀 真也	東京都武蔵野市	647	2.53
安藤 英雄	東京都港区	580	2.27
アイビー共栄会	東京都港区赤坂6-18-3	443	1.73
三井住友信託銀行	東京都千代田区丸の内1-4-1	160	0.62
計	-	11,862	46.48

(注) 上記のほか、自己株式が5,689千株あります。

(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成27年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 5,689,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,679,000	19,679	-
単元未満株式	普通株式 152,000	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	25,520,000	-	-
総株主の議決権	-	19,679	-

【自己株式等】

平成27年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アイビー化粧品	東京都港区赤坂6丁目18番3号	5,689,000	-	5,689,000	22.29
計	-	5,689,000	-	5,689,000	22.29

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが実質的に所有していない株式が3,000株(議決権の数3個)あります。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄に含まれております。

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東光監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,314,425	878,691
受取手形及び売掛金	1,332,651	2,091,026
商品及び製品	393,281	465,461
仕掛品	14,456	13,406
原材料及び貯蔵品	188,281	209,102
その他	154,850	178,187
貸倒引当金	6,160	9,268
流動資産合計	3,391,785	3,826,608
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	368,205	363,481
機械装置及び運搬具(純額)	63,356	57,027
土地	521,190	521,190
リース資産(純額)	7,771	6,857
その他(純額)	40,298	38,834
有形固定資産合計	1,000,821	987,390
無形固定資産	27,780	24,474
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	300,716	308,472
投資不動産(純額)	264,463	262,035
差入保証金	375,312	325,332
その他	208,035	209,853
貸倒引当金	55,173	61,566
投資その他の資産合計	1,093,354	1,044,128
固定資産合計	2,121,956	2,055,993
繰延資産		
社債発行費	12,392	13,673
繰延資産合計	12,392	13,673
資産合計	5,526,134	5,896,274

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	495,652	370,153
短期借入金	670,000	430,000
1年内償還予定の社債	84,000	124,000
未払法人税等	46,164	288,695
賞与引当金	67,499	113,493
ポイント引当金	271	331
返品廃棄損失引当金	10,000	-
その他	448,915	552,812
流動負債合計	1,822,503	1,879,486
固定負債		
社債	832,000	950,000
その他	122,256	124,096
固定負債合計	954,256	1,074,096
負債合計	2,776,759	2,953,583
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	804,200	804,200
資本剰余金	343,800	343,800
利益剰余金	3,415,401	3,609,964
自己株式	1,701,082	1,701,338
株主資本合計	2,862,318	3,056,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,201	4,211
土地再評価差額金	118,145	118,145
その他の包括利益累計額合計	112,943	113,934
純資産合計	2,749,375	2,942,691
負債純資産合計	5,526,134	5,896,274

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1 2,326,612	1 2,943,174
売上原価	489,444	503,525
売上総利益	1,837,167	2,439,648
販売費及び一般管理費	2 1,491,514	2 1,779,490
営業利益	345,653	660,158
営業外収益		
受取利息	1,900	1,720
受取配当金	359	205
受取保険金	41,604	-
受取賃貸料	20,195	22,885
雑収入	10,120	12,469
営業外収益合計	74,180	37,280
営業外費用		
支払利息	7,042	5,906
賃貸収入原価	20,879	23,635
被災資産修繕費	13,901	-
雑損失	11,430	6,492
営業外費用合計	53,253	36,035
経常利益	366,580	661,403
税金等調整前四半期純利益	366,580	661,403
法人税、住民税及び事業税	134,504	276,259
法人税等調整額	1,273	7,736
法人税等合計	135,778	268,523
四半期純利益	230,802	392,879
親会社株主に帰属する四半期純利益	230,802	392,879

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	230,802	392,879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,750	990
その他の包括利益合計	1,750	990
四半期包括利益	232,553	391,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,553	391,889

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	366,580	661,403
減価償却費	45,248	50,740
賞与引当金の増減額(は減少)	18,437	45,993
貸倒引当金の増減額(は減少)	275	9,500
返品廃棄損失引当金の増減額(は減少)	-	10,000
退職給付に係る資産の増減額(は増加)	33,660	7,756
受取利息及び受取配当金	2,260	1,926
支払利息	7,042	5,906
為替差損益(は益)	889	784
有形固定資産除売却損益(は益)	136	59
売上債権の増減額(は増加)	407,503	758,375
たな卸資産の増減額(は増加)	26,861	91,951
仕入債務の増減額(は減少)	79,030	125,498
未払金の増減額(は減少)	17,815	28,709
未払費用の増減額(は減少)	14,133	94,214
未払役員退職慰労金の増減額(は減少)	-	420
その他	10,887	15,014
小計	15,923	83,600
利息及び配当金の受取額	2,259	1,933
利息の支払額	7,093	5,817
法人税等の支払額	102,260	42,173
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>123,019</b>	<b>129,657</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	10,632	58,424
無形固定資産の取得による支出	903	-
貸付けによる支出	-	11,751
貸付金の回収による収入	8,389	9,681
差入保証金の差入による支出	82	346
差入保証金の回収による収入	6,769	50,732
定期預金の預入による支出	-	45,000
会員権の取得による支出	-	17,100
会員権の売却による収入	-	7,000
その他	592	-
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,949</b>	<b>65,207</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	240,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	929	949
社債の発行による収入	-	195,882
社債の償還による支出	42,000	42,000
自己株式の取得による支出	62	255
配当金の支払額	107,651	197,762
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>150,643</b>	<b>285,084</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	889	784
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	269,824	480,733
現金及び現金同等物の期首残高	1,531,534	1,314,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,261,709	833,691

【注記事項】

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結損益計算書関係)

1 売上高の季節的変動

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

当社グループでは、主として第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に集中して売上高が発生するため、通常第2四半期連結累計期間の売上高は、第1四半期連結累計期間の売上高を2倍した金額と比べ著しく高くなっております。

2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
給与手当	362,814千円	359,470千円
賞与引当金繰入額	78,294	102,510
退職給付費用	17,683	42,045
貸倒引当金繰入額	275	9,500

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
現金及び預金勘定	1,261,709千円	878,691千円
担保提供定期預金	-	45,000
現金及び現金同等物	1,261,709	833,691

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

配当に関する事項

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	108,165	5.00	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

配当に関する事項

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	198,316	10.00	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは化粧品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	10円67銭	19円81銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	230,802	392,879
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	230,802	392,879
普通株式の期中平均株式数(千株)	21,632	19,831
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株 式で、前連結会計年度末から重要な変動があったも のの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月10日

株式会社アイビー化粧品

取締役会 御中

東光監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 鈴木 昌也 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 中島 伸一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アイビー化粧品の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アイビー化粧品及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。  
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。